



大城神社



金堂の遠景

## 金堂町並みの歴史

金堂地区の歴史は古く、集落の東側で7世紀後半の金堂廃寺が発掘されるなど古代神崎郡の中心地の一つでした。中世には「山前五箇庄」と称された皇室領・日吉神社領などの荘園が広がり、金堂の南西2kmには近江国守護の佐々木六角氏の居城・観音寺城があり、金堂村には城の守護神とされる大城神社が鎮座しています。



## 町並みの保存事業

平成10年(1998)12月25日に金堂の町並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区に選ばれました。選定の理由は、「五箇庄金堂の町並みは、古代条里制地割を基礎に、陣屋と社寺を中心に形成された湖東平野を代表する農村集落で、加えて近江商人が築いた意匠の優れた伝統的な建造物群となっており、周囲の水田景観を含めて、優れた歴史的景観を保存し、我が国として価値が高い」とされています。

優れた歴史的文化的遺産を身近に感じながら暮らし続けられること、これが地域の個性となり人びとの誇りとなって、未来へとより豊かなまちづくりとして継承されていきます。歴史的な町並みの保存事業は、単に歴史的建築物の修理や景観の保全を目的としたものではありません。この地域の魅力は何か、何を未来の子ともたちに残していきたいか、地域住民が自らまちづくりについて考え行動するきっかけとなるものです。

重要伝統的建造物群保存地区

近江商人のふる里

# 東近江市 五箇庄 金堂の町並み

Gokasho

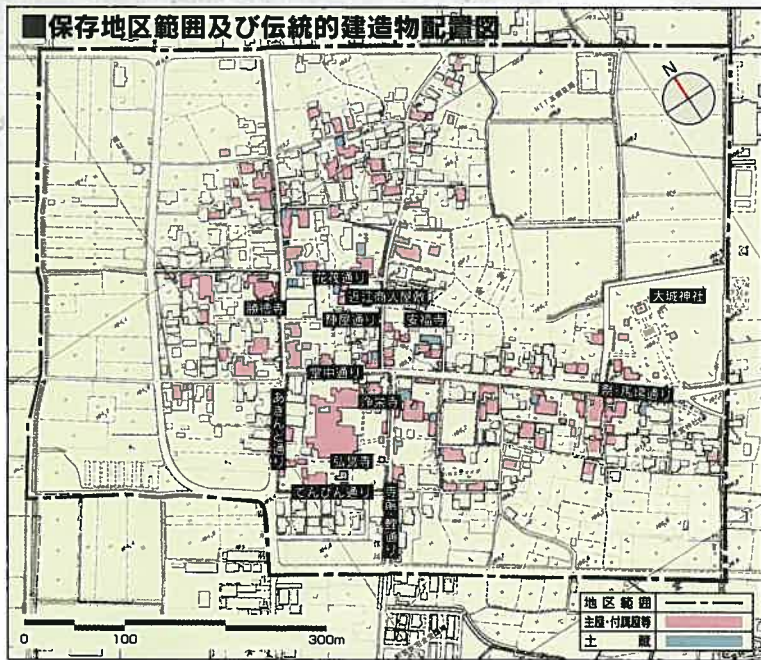
Kondo

85)から明治4年(1871)までは大和郡山藩領でした。同藩は、近江国内に所在する51カ村4万石の領地支配のため、元禄6年(1693)に金堂村の中央に大和郡山藩の陣屋を置きました。

金堂の町並みは、江戸時代初期には形成されていたと思われる、元禄3年(1690)の古図には条里制の格子状の地割を基本に、集落中央に弘誓寺・安福寺・勝徳寺があり集落の東側に大城神社が描かれています。のち、大和郡山藩の金堂陣屋が置かれ、更に江戸時代後期は、近江商人が数多く活躍し、集落中央を東西に通る「祭馬場通り」や南北に通る「寺前廻通り」の主要街路に沿って商人本宅群が建てられ、集落の周辺には農家住宅が広がる集落構成ができました。

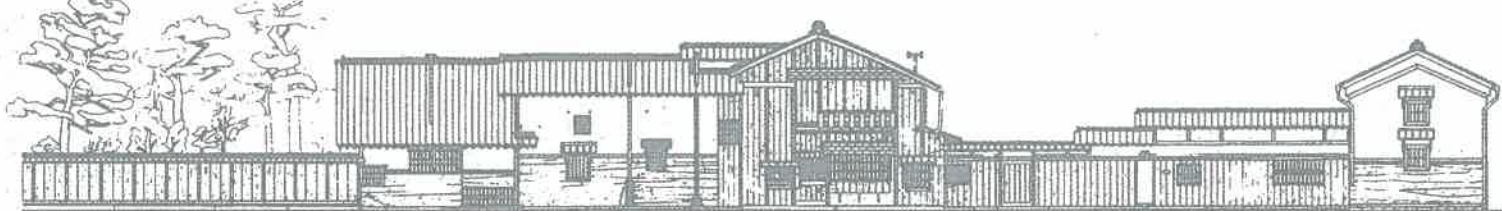


寺前・廻通りの景観(街路左、商人本宅)



保存地区は東西670m・南北520m、面積32.2ha





# 金堂町並みの見どころ

## 金堂の自然景観

東近江市は、鈴鹿山脈と琵琶湖の間に広がる広大な湖東平野のほぼ中央に位置し、五個荘金堂地区は地域のやや琵琶湖よりにあります。金堂地区の周囲は、織山(標高432m)や箕作山(標高375m)和田山(標高180m)などの独立した山々と湖東平野一の大河愛知川に囲まれています。この一帯の平野部は愛知川が形成した扇状地で、その大半には古代の条里制をとどめる水田景観が広がっています。かつては自然の湧水が豊富で、金堂集落を巡る天保川にはトゲウオ科の一種「ハリヨ」などの希少淡水魚が生息していました。



弘誓寺

## 近江商人の町並み

五個荘は、近江八幡・日野と共に近江商人発祥の地として広く知られています。金堂地区からも江戸時代後期18世紀以降から明治・大正・昭和戦前期にかけて外村与左衛門・外村市郎兵衛・外村宇兵衛・中江勝治郎・塚本喜左衛門など数多くの商人が活躍しました。商人達は、立身出世しても郷里を離れることなく、この地に本宅を築き、進んで寺社に寄進するなど

さまざまな公共事業に出資し、地域に貢献しました。

金堂の町並みのランド・マークとなっているものに、弘誓寺本堂の大屋根と大城神社の鎮守の森があります。弘誓寺は、浄土真宗大谷派に属し江戸時代には末寺

25カ寺を持つ中本山で、寺伝では正應3年(1290)に那須与一の孫で本願寺第三世覚如上人の高弟愚咄賢空坊による開基と伝承しています。現在の本堂は宝暦14年(1764)に竣工したもので、滋賀県における18世紀の大型真宗寺院の本堂の典型として国の重要文化財の指定を受けています。

また、大城神社の鎮守の森は、樹齢数百年を数える杉の高木がうっそうと茂り、神域を囲む巨石の石垣と相まって荘厳な雰囲気をつくり出しています。

## 近江商人本宅の特徴

金堂の町並みは、遠景から見ると、弘誓寺の大屋根を中心に商人本宅と農家住宅が寄りそつように形成されています。



商人本宅庭

商人本宅は、2〜3、000㎡前後の広大な敷地を船板塀で囲み、内部に切妻や入母屋造り二階建の主家を中心に数寄屋風の離れや土蔵・納屋を建て、池や築山を配した大きな日本庭園を持つのが特徴です。しかし、決して雄壮豪華な大

商人本宅外観



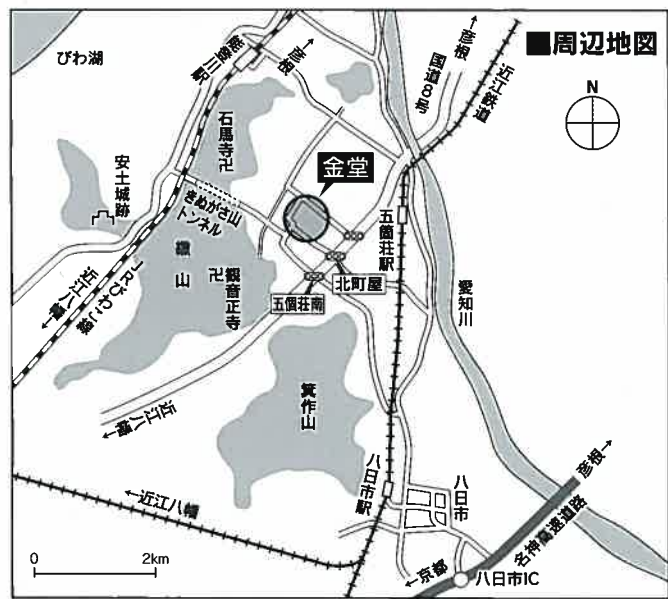
邸宅ではなく、質素儉約を旨とし、「売り手よし・買い手よし・世間によし」の三方よしの精神を受け継いだ近江商人の生活文化がしのべられます。農家住宅は、切妻もしくは寄棟造り草葺屋根平屋建ての主屋と納屋を持つ伝統的な形式です。いずれも屋内に力ワトやアライトなどで水路の水を引き込み生活用水に利用しています。平成19年(2007)3月に「近江商人のふる里500選」が、『美しい日本の歴史的風土100選』(財)古都保存財団)に選ばれました。



農家住宅

### 金堂町並みのお問い合わせは

- ◎金堂まちなみ保存交流館  
TEL 0505(801)7101
- ◎東近江市 近江商人博物館  
TEL 0748(48)7101
- ◎一般社団法人東近江市観光協会  
TEL 0748(48)2100



### ◎交通機関

- ・JR能登川駅より、近江バス「八日市駅行」金堂下車
- ・近江鉄道五箇荘駅より徒歩25分
- ・名神高速道路八日市ICより車20分
- ・名神高速道路竜王ICより車20分

この印刷物は、環境に配慮した再生紙と環境にやさしい植物油インクを使用し、E3PAのゴールドクラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方式で作成されています。

